



撮影©中田昭

古典の日絵巻 第七巻

きものがたり

第三号 平成30年6月1日 鐘の音

仕子柄 旅が多い。新幹線で上京する時
 は必ずカメラを席せしめる。
 進行方向 左側に富士山が現れるかとう
 かだ。
 夏は甲斐人と絶望的だ。冬の曇り日
 として晴れしている日は希望が持てる。
 その日は早朝の9時すぎ。電車入止ま
 た。
 今日のもう一つ 富士山が曇る。お
 も。
 若木屋をまわし 群団にまわす。富士
 山が気になる。
 大正解。青い空に 雪をふった富士山。
 絶望だ。
 乗客は何人か。カメラをさけてソファ
 知どうに寝ている人もいる。
 寝ている人 みんなあこも。この夏、い
 ち山を見や。あつたいと思え。ソファ、
 是れ一車体放送。
 今からせいぞろい。 只今、進行方向

鐘の音

市田ひろみ

左側に 青い富士山が見えます。……
トキトキ。…… 青い富士山
もろろふた。…… 青い富士山

親切な 車帯さんの配慮で、ほろろとの
来客が、青い山を愛した。
…… 車帯さんか道路と通ったので、

「今の放送良かったわ。…… ときたら
…… 青い。…… 青い。…… 青い。……
…… 青い。…… 青い。…… 青い。……

今日も青い富士山はよく見えます。
…… 青い。…… 青い。…… 青い。……

「…… 青い。…… 青い。…… 青い。……
…… 青い。…… 青い。…… 青い。……

青い。…… 青い。…… 青い。……
…… 青い。…… 青い。…… 青い。……

…… 青い。…… 青い。…… 青い。……
…… 青い。…… 青い。…… 青い。……

仕事柄 旅が多い。新幹線で上京する時は、必ず CかDの席をとる。

進行方向 左側に 富士山が見えるかどうかだ。

夏は、ほとんど絶望的だけど 冬の寒い日、そして晴れている日は、希望が持てる。

その日も 早朝ののぞみで 東京へむかった。

今日は、もしかして 富士山が見えるかも。

名古屋を出て、静岡にむかう頃から 富士山が気になる。

大正解。青い空に 雪をかぶった富士山。絶景だ。

乗客の何人かは、カメラをむけていたが、知らずに寝ている人もいる。

寝ている人 みな おこして この美しい富士山を見せてあげたいと思っていたら、突然 車内放送。

「お知らせいたします。只今、進行方向 左側に美しい富士山が見えます。…」

よかった。しかし こんな美しい 富士山も久しぶりだ。良いことありそう。

親切な 車掌さんの配慮で ほとんどの乗客が 美しい山の姿を見た。

その時、車掌さんが通路を通ったので、「今の放送良かったわ」と言ったら「いやー、そう言って頂くと ほんとは。私は 東海道 ひとすじやって来ましたが 今日のような 美しい富士山は久しぶりです。でも 叱られることもありますので。」

? ?

「寝てるのに うるさい。放送するな！！」

なる程 なる程。車掌さんも いろいろ苦勞してるのだ。

京都は お寺が多い。寺の鐘を 朝夕、聞けるところもあるが 聞けない寺もある。

我が家の近くにある寺は 朝 五時に 鐘がなる。名鐘らしくて 静かに 身体にしみこむような鐘だ。

除夜の鐘は絶品だ。京都の底冷えの 痛いつめたさの中で 波調をととのえて ひびく鐘の音は心にしみる。

「御近所が うるさい いわはりますさかい うちが 朝の鐘 やめました」と聞いたことがあるが。

そんな少数派のクレーム 気にせんと 鐘の音を聞かせて ほしい。京の鐘の音は 静かな もてなしではないだろうか。